

上手にお医者さんにかかっていますか？

★病院などの医療機関にかかるときに気をつけたいこと★

みなさんが病院などの医療機関・薬局などで支払う自己負担金は医療費の一部であり、残りの医療費は健保組合が負担しています。その医療費の財源は皆さんに納めていただいている健康保険料で賄われていますので、医療費が増えると健康保険料率も上げざるを得ない状況になります。みなさんが安心して医療を受けられる制度を維持していくために、医療機関にかかる時は、かしこく上手にかかるよう、ご協力をお願いいたします。

かかりつけ医がいますか？

日頃から病歴や健康状態を把握してくれているかかりつけ医がいれば、ご自分にあった治療、アドバイスが受けられます。

受診後に明細書と領収書の内容をみてみましょう。

重複受診をさけましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診すると、その都度初診料がかかり費用の無駄が発生します。また、検査や処置・投薬などを何度も行うので身体に悪影響を与える心配もあります。

薬のもらいすぎに注意しましょう

必要以上に薬をもらいすぎると薬代がかさむだけでなく、服用している薬と同じような種類の薬をもらうと、飲み合わせによるトラブルもおこるかもしれません。薬が余っている場合は、医師や薬剤師に相談しましょう。

急病以外で、休日や夜間などに医療機関を受診していませんか？

休日や夜間に開いている救急医療機関は緊急性の高い患者さんに対応するため、支払う医療費は高く設定されています。また、緊急を要する重傷患者への対応の遅れなどにもつながる場合があります。



病気の早期発見、早期治療、重症化予防のためにも
健診は毎年必ず受け、結果の確認を。

健康経営優良企業を目指し

「健康企業宣言」する事業所を募集します

宣言の証が
交付されます

健康経営優良法人認定制度とは？

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業の法人を顕彰する制度です。

健康経営とは？

企業が従業員の皆さんの健康保持・増進の取り組みをすることが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです。

参加するメリットは？

企業自ら宣言を行うことにより、従業員の皆さんの健康管理に対する意識が変わります。従業員の皆さんが健康になれば生産性の向上につながります。また、「健康企業宣言 宣言の証」の社内掲示や広報等により、企業イメージの向上を図ることができます。

別途、事業者あてご案内いたします。詳しくは経済産業省HPをご覧ください。

参加は無料です。ペナルティもありません。

■ホームページをご利用ください 「健保の給付」「各種手続き」「健康づくり」などの見出しで内容が見やすくなりました。

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合



またはURLを直接入力▼

www.hckenpo.jp/